

お取引先さまへ

お取引先とのパートナーシップ

デンソーテングループは、企業行動指針の中で「公平・公正・透明な企業活動」「公正な取引」などを掲げています。さらに、企業行動宣言(CSR方針)においては、「サプライヤーなどの取引先を尊重し、長期的な視野に立って相互信頼に基づく共存共栄の実現に取り組むこと」「取引関係においては、オープンで公平な取引機会を提供するとともに、法令および契約を順守し、公正な関係を維持すること」を明記しています。

これらを受けて、調達の基本方針として「オープンで公平・公正な取引」「サプライヤーとの共存共栄」「CSRの推進」の3本柱を掲げ、調達方針および重点取り組み事項、またお取引先へのお願い事項を、仕入先総会、期待値活動などを通じて、お取引先に周知をお願いしています。



2017年度の活動方針、実績

仕入先総会・期待値活動にて「圧倒的な競争力を身に付ける」、「磐石なリスク管理体制を備える」「最適な品質を確保する」を方針として掲げ、「品質・コスト・納期・技術・環境保全」に関連する諸活動を行つてきました。

2017年度は当社主要製品のモデルチェンジサイクルのスタートとなるため、2017年6月に生産動向説明会を開催し、お取引先とのさらなる連携強化・生産情報の共有化により、新製品の立ち上げ準備および現流動製品への打ち切り対応など、円滑な生産活動をお願いしました。

同時に、当社が製品環境コンプライアンス違反のリスク低減を目的に、法規制や顧客要求を先取りした「トップランナー方式」へ化学物質管理方針を変更したことを説明し、サプライチェーン全体での製品化学物質管理の徹底をお願いしました。2018年3月にも第二回生産動向説明会を開催し、コミュニケーションの強化を図りました。

また、地震などの災害発生に備え、お取引先の生産場所情報を把握するためのシステム「SCR-Keeper^{*1}」に対し、登録データの定期的な見直しを実施し、3次・4次のお取引先を含む生産場所情報の精度の維持・向上を図りました。併せて、主要海外拠点(アセアン・中国)での運用に対し、レベルアップ講習会の実施により、現地キーパーソンの育成を支援することで、グローバルでのサプライチェーンデータの精査・登録を推進しています。

TOPICS

天栄会 テーマ研究部会で 「サプライヤーBCP^{*2}」の改善を提案

お取引先95社とデンソーテンから成る協力会「天栄会」は、会員各社と当社の双方に共通する「重要課題」をテーマに掲げたテーマ研究部会が複数活動しています。

そのひとつとして、2017年度は、第一部会が「サプライヤーBCPのレベルアップ」を取り上げ、「2次・3次のお取引先におけるSCR-Keeper運用の改善」、「火災など地震以外の災害・事故発生時における、SCR-Keeper運用の課題」について検討し、サプライヤーBCPの底上げを提案しました。



*1 SCR-Keeper:
富士通株式会社が運営するサプライチェーンリスク管理サービス
FUJITSU Intelligent Society Solution SCR Keeper
(エスシーアールキーパー)

*2 BCP(Business Continuity Plan):
事業継続計画。自然災害をはじめとするリスクの発生に際し、重要な事業の中止を防ぎ、仮に中止した場合もできるだけ短い期間で復旧させるための方針、体制、手順などを示した計画のこと

グリーン調達ガイドライン
第7版

仕入先CSRガイドライン

公平・公正な取引の徹底

「2017年度テーマ研究部会活動報告会」で

お取引先からの提案をオープンに募り、平等な条件でお取引先選定しています。

また、調達部門の新人・異動者には関連法令に関する教育を実施するとともに、調達担当者は年1回、調達スキルのチェックを行い、一定期間で配置換えを実施しています。

さらに、コンプライアンスラインをお取引先にも開放し、お取引先から通報・相談があった場合、対応可能な体制を整えています。

紛争鉱物問題への取り組み

当社は、紛争鉱物問題をサプライチェーンにおける重要な問題として認識しており、デンソーグループの紛争鉱物対応方針に基づき、「仕入先CSRガイドライン」を通じて、お取引先に責任ある資源・原材料調達を要請しています。今後もお取引先の皆様と協力し、懸念のある鉱物の使用回避に努めてまいります。

デンソーグループ 紛争鉱物対応方針

私たち（デンソーグループ）は、人権・環境等の社会問題への影響を考慮した調達活動を推進しています。コンゴ民主共和国および周辺諸国産の紛争鉱物問題は、サプライチェーンにおける重大な社会問題の一つと認識しています。

紛争鉱物の使用状況について調査を実施し、「社会問題を引き起こす」、あるいは「武装勢力の資金源になっている」懸念のある場合には、使用回避に向け取り組みを実施します。

また、取引先様にも、私たちの考えを理解いただくとともに、責任ある資源・原材料の調達活動に取り組んでいただくよう要請していきます。

グリーン調達の推進

改訂「グリーン調達ガイドライン」をWEB上にて開示

デンソーグループとしての環境要求事項を反映させ、改訂したグリーン調達ガイドライン（第7版）を2018年4月、WEB上にて開示しました。

また、JAMA統一データシートの改版などに対応して都度情報を発信し、最新版で作成いただくようお願いしています。

Scope3に対応したお取引先との連携活動

第8期環境取り組みプランとして、国内および海外拠点にてScope3に対応したお取引先と連携し、輸送や梱包改善に取り組み、CO₂排出量の削減を推進しています。

2017年度は、「現地生産された部品の調達推進」を重点目標とし、中国・アセアン・北米地域を中心として、廃棄物となる梱包材の削減、輸送距離の削減に取り組んだことで、CO₂排出量の削減目標を上回る成果を得ることができました。

2018年度も、第8期環境取り組みプランの継続テーマとして、お取引先との連携活動によるCO₂削減および環境マネジメントシステム構築に対する支援を実施する計画です。

サプライチェーンの事業継続

当社グループは、トヨタ自動車株式会社、富士通株式会社が共同開発したクラウドシステム「SCR-Keeper」を運用し、4次までのお取引先の生産場所情報を、当社およびお取引先がいつでも、どこからでも閲覧できるようにしています。システム導入以降、SCR-Keeperの登録データのベースとなる「サプライチェーン情報の整備」をお取引先のご協力のもとアップデートに努めています。

お取引先とのコミュニケーション

当社は、品質・コスト・納期・技術・環境保全の5項目における目標をお取引先ごとに設定し、年度末に開催する「仕入先総会」では、優れた実績を収めたお取引先に感謝状を贈呈しています。また、仕入先総会では、当社グループの次年度の会社方針、技術開発および調達の方針をご説明するとともに、CSR順守をお願いしています。

2018年3月に開催した仕入先総会では、167社/246名に出席いただき、17社のお取引先に感謝状、記念品を贈呈しました。



2018年度の仕入先総会には、
167社・246名のお取引先が参加しました

Voice



■お取引先の声

当社は、各種半導体・デバイスや計測機器の販売を行うほか、お客様へのご提案、技術開発サポートなどを通じ、新事業・新スキームの創出に取り組んでいます。

この度、ビステル株式会社、NXPジャパン株式会社と共同して、FM/AM/DABを統合し、小型化とコスト低減を図ったラジオ専用ICの開発に成功し、「2018年仕入先総会」にて技術開発優秀賞をいただきました。

今後も技術サポートなどのいっそうの強化を図り、協力企業と連携して付加価値の高いご提案を行ってまいります。

バイテックグローバルエレクトロニクス株式会社 取締役 鈴木 俊幸さん